

地質ニュース

昭和 47 年 9 月 第 217 号 1972

解 説	地質分野における電算機利用の現状……………小川 克郎・1 津 宏 治
	沖繩の自然と地質 ～沖繩本島を中心として～ ……木野 義人・13
	地質調査所鉱床部の組織変更について……………大町 北一郎・28
	海洋地質課の発足について……………水野 篤行・30
講 座	層位学 (総論 その10-3)……………福田 理・32
海外事情	スイスの自然と人々 (その3)……………星野 一男・43
	南米アンデス地帯の地質と鉱床……………竹田 英夫・52
	学会 掲 示 板……………42
	地学 と 切 手……………P. Q.・31

編 集 地質調査所

表紙の写真

岩のゴシック芸術

早春の南伊豆は西風がきびしい。西風は孢子をまき散らし名産の岩のりを育てる。海食台の潮間帯でのりをとる人はだから風を苦にしないそうだ。そんなり場の背後にこのゴシック風の幾何学模様を持つ岩脈がある。場所は弓が浜海水浴場の東 逢の浜海岸である。タジマハルのアーチを思わせる見事な節理。こんな教科書的な露頭は海岸を除いてはめったにお目にかかれない。波食崖とその前面の水面にみえかくれる波食台とは地下構造の垂直断面と水平断面とを一度に観察できる絶好の地質研究の場である。ただし地質家は潮の満ち干をよく考えることである。明日の暦を調べる位の努力は無駄にはならない。得られる情報量に格段の差がでて来るし深みを徒渉するのも楽になる。

(文角 清愛 写真 正井義郎)

発行 株式会社 実業公報社